

平成 26 年度計画

平成 26 年 5 月 26 日

JaLC 事務局

1. 全体方針

- 1) 平成 25 年度同様に JaLC 運営委員会、システム技術分科会、対象コンテンツ拡大検討分科会、普及分科会を組織する。
- 2) 以下の新機能を備えた新 JaLC (JaLC2) を平成 26 年 12 月にリリースするためのシステム基盤構築および運用体制の構築を行う。
 - (1) 異版コンテンツの対応、
 - (2) マルチプルレゾリューション等の同一コンテンツが複数の場所にある場合への対応、
 - (3) 書籍や研究データ等のコンテンツへの対象拡大、
 - (4) 研究者 ID (Read&Researchmap、eRad、ORCID 等)、機関 ID (J-GLOBAL、KAKEN 等) などの識別子への対応
- 3) JaLC2 説明会を開催するなど JaLC2 リリースに向けた普及活動を実施する。

2. 委員会・分科会体制

以下の 3 分科会体制とする。分科会委員の委嘱は順次行う。

項番	分科会名	検討事項
1	システム技術分科会	<ol style="list-style-type: none">① JaLC2 の運用確立のに向けた体系的な検討② JaLC2 システムの機能の普及分科会への提示③ JaLC2 の運用後でてきた利用機関からのフィードバックへの対応④ メタデータの拡張 (例えば書籍で流通している ONIX への対応)⑤ 登録支援 (登録 XML ファイルの形式チェック)
2	対象コンテンツの拡大検討分科会	<ol style="list-style-type: none">① 対象となるコンテンツの範囲
3	普及分科会	<ol style="list-style-type: none">① JaLC 各種説明ドキュメントの内容② 利用者向けの JaLC2 説明会

3. 開発

平成 26 年度は平成 25 年度に開発した JaLC2 のリリースに向けて以下の作業を実施する。

項番	項目	内容
1	システム基盤構築	・ OS、ミドルウェアを導入する ・ ネットワーク設定を行う
2	プログラム導入	JaLC2 プログラムを導入する
3	データ移行	JaLC1 から JaLC2 にデータ移行を行う
4	連携テスト	外部システムとの連携テストを実施する
5	会員向けドキュメント整備	会員向けの操作手引き等のドキュメントを整備する

4. 普及

JaLC の紹介、JaLC 利用の手引きを整備し DOI の利点を示す。また、平成 26 年 12 月に予定している JaLC2 リリースにあたり、JaLC2 リリースに向けた普及活動に重点を置く。具体的には、利用マニュアルの整備を行う。あわせて大学図書館へのアナウンスを実施する。平成 25 年度は行った図書館総合展フォーラムは実施せずに代わりに会員（正会員、準会員）や会員を検討している方を対象に JaLC2 説明会を開催する。

5. スケジュール

別紙参照

— 以 上 —

JaLCスケジュール

別紙

		平成26年度				
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
運用	1.JaLC運用			2月頃 ▲ 法定点検 に伴うDOI 登録の停止 ▲JaLC、 JaLC2切替作業 に伴うDOI登録の停止		
	2.JaLC2(新システム)運用					
	3.DOI登録状況	①Webフォームによる入力登録				
		②XMLファイルによる一括登録				
③OAI-PMH/ハーベストによる一括登録 (NDL学位論文/DC-NDL形式) (NII紀要等/junii2形式)					(NDLデジタル化資料、 オンライン資料等)	
開発	1.システム基盤構築					
	2.プログラム導入					
	3.データ移行					
	4.連携テスト					
	5.会員向けドキュメント整備					
	6.JaLC2サービス開始				サービス開始 (検討中) ▲	
運営	1.運営委員会	▲(5/26開催予定)		▲(開催予定)	▲(開催 予定)	
	2.システム技術分科会		▲(開催予定)	▲(開催予定)	▲(開催 予定)	
	3.対象コンテンツの拡大検討分科会		▲(開催予定)	▲(開催予定)	▲(開催 予定)	
	4.普及分科会	▲(開催予定)		▲(開催予定)	▲(開催 予定)	